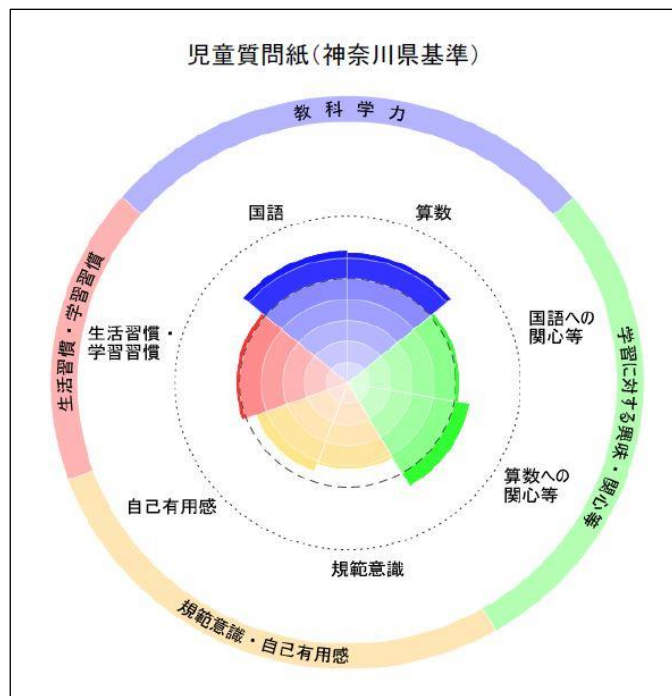
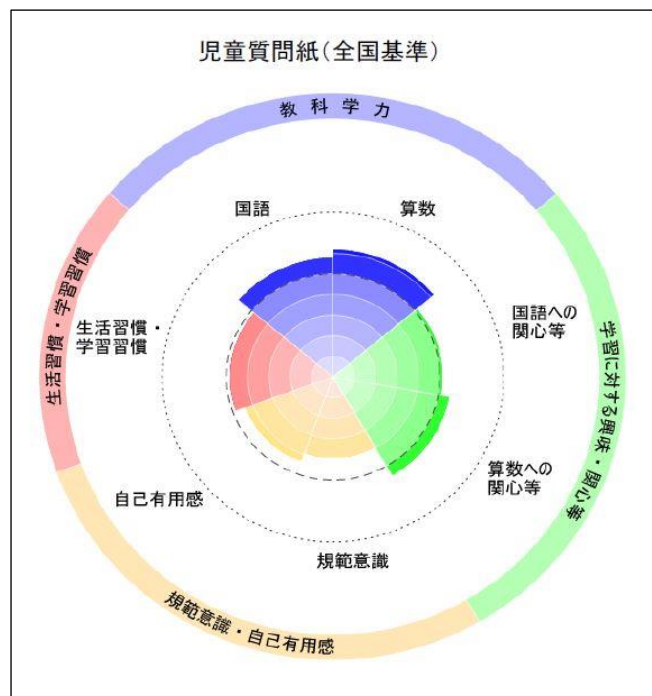


令和元年度 全国学力・学習状況調査 結果の考察

平成 31 年 4 月に全国学力・学習状況調査が行われました。その結果が届きましたので本校児童の結果の概要とその考察をお知らせします。



《学力調査結果》

【国語 A：主として知識】

主として国語に関する知識を問う問題についての概況です。すべての設問で神奈川県・全国平均と比べて高く、全体では神奈川県平均を大きく上回っています。ただ、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う」という趣旨の設問に関しては、やや学習の定着が弱いところです。

【国語 B：主として活用】

主として国語に関する活用を問う問題についての概況です。すべての設問で神奈川県・全国平均と比べて高く、全体では神奈川県平均を大きく上回っています。「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」という趣旨の設問では 4 割強の正答率で、全国・神奈川県平均より高いものの課題が残る部分でした。

【算数 A：主として知識】

主として算数に関する知識を問う問題についての概況です。すべての設問で神奈川県・全国平均と比べて高く、全体では神奈川県平均を大きく上回っています。

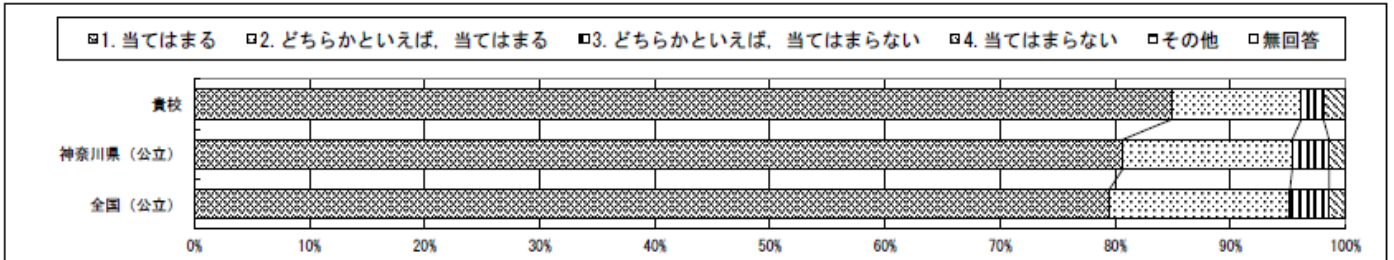
【算数 B：主として活用】

主として算数に関する活用を問う問題についての概況です。すべての設問で神奈川県・全国平均と比べて高く、全体では神奈川県平均を大きく上回っています。「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」「示された図形の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」という趣旨の設問では 5 割程度の正答率で、全国・神奈川県平均より高いものの課題が残る部分です。

「学習状況調査結果・考察」

【成果・良さ】

質問番号	質問事項										
(9)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	85.0	11.2	1.9	1.9						0.0	0.0
神奈川県（公立）	80.6	14.7	3.2	1.4						0.0	0.0
全国（公立）	79.5	15.7	3.4	1.4						0.0	0.0

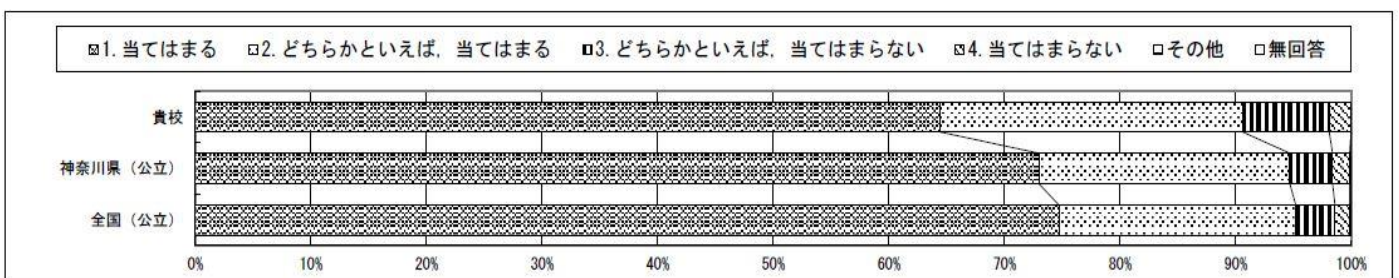


「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と考えている児童が8割以上おり、「どちらかという」とまで含めると9割6分以上の児童が粘り強く課題に取り組んだことの達成感を味わっていることが分かります。行事や教科の時間の中で、**継続して取り組むことの大切さ**を指導している結果が表れています。

他にも、「**総合的な学習の時間では、自分で情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習課題に取り組んでいる**」と7割5分以上の児童が答えました。これからの時代を生きていく子どもたちにとって、**情報活用能力、とりわけプレゼン能力を高めていくことは重要**と考え、継続して指導していきます。

【課題・改善点】

質問番号	質問事項										
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	64.5	26.2	7.5	1.9						0.0	0.0
神奈川県（公立）	72.9	21.7	3.7	1.5						0.0	0.1
全国（公立）	74.7	20.5	3.4	1.3						0.0	0.1



「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、「**当てはまる**」と答えた児童が64.5%と全国平均より少なく、「**当てはまらない**」と答えた児童は7.5%と県平均の2倍いることが分かりました。

今年度は【Y-NEXT】の取り組みを行い、**多くの企業との連携**を通して、子どもたちが将来社会で活躍していく**モデルとなる大人と多く接しています**。企業で働く大人たちが、社会貢献活動として山内小と関わる姿を直接的に見ることで、**子ども自身が将来の自身の姿をイメージできるようなキャリア教育**を続けていきます。

他にも、「**学校のきまりを守っていますか**」の質問では平均をやや下回る結果となりました。また「**地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある**」と半数以上が答えているのに対し、「**地域行事に参加したことがある**」は4割5分と関心はあるが行動に移せていないことも見えてきました。背景を分析し、今後の指導につなぎます。